

2018(平成30)年度  
大東文化大学大学院  
アジア地域研究科アジア地域研究専攻  
春季入試(4月入学)

|            |
|------------|
| 科目名        |
| <b>日本語</b> |
| (90分)      |

|         |
|---------|
| 氏名・受験番号 |
|         |
|         |

|              |
|--------------|
| 前期課程 語学試験 1限 |
|--------------|

|          |
|----------|
| 用紙総計 1/1 |
|----------|

|             |
|-------------|
| <b>問題用紙</b> |
|-------------|

|              |
|--------------|
| 2018年2月16日実施 |
|--------------|

1. 別紙(『毎日新聞』夕刊、2018年1月22・23日付)を読んで、以下の問いに答えなさい。

(1)フィリピン人のエドガーさんは「シラヤ語復興が自分の使命だと感じた」という。使命が達成されるまでに時代を超え、国境を越えて、「シラヤ語辞書」の完成に貢献した人びとをすべて挙げなさい。

(2)フィリピンの先住民ビサヤ族と台湾のシラヤ族の歴史的関係を、本文から、推測を含めてできるだけ詳しく述べなさい。

(3)「アジア地域研究」を志すあなたにとって、本文を読んでどのような感想を持ったか? 200字程度で述べなさい。

2. 別紙(『毎日新聞』2017年10月3日付)を読んで、以下の問いに答えなさい。

(1)日本の理系国立大学としてトップレベルにある東京工業大学(東工大)が、リベラルアーツを柱とした一大教育改革を進めているという。東工大の教育改革の背景と目指すところは、どういったものか具体的に触れた文章を本文から抜き出しなさい。

(2)「2500年続いている仏教とか、2000年続いているキリスト教とか、時代を超えて生きてきた様々な文化伝統はほんとうにすごいんだよ」という。

① 仏教やキリスト教のほかに、時代を超えて生きてきた文化伝統をできるだけたくさん挙げなさい。

② 上田さんは、大学が凡庸化を超えて生き残るために九つの原則のいくつかを紹介しているが、その実践は大変だという。その理由に触れた文章を本文から抜き出しなさい。そしてあなたの意見も加えなさい。

(3)「・・・ほんとうにすごいんだよ。科学者こそそれらを絶対知っておくべきなんだ」という。科学者が絶対知っておくべき理由をリベラルアーツの役割に触れながら、あなたの考えを200字程度で述べなさい。

『毎日新聞』（夕刊）、2018年1月23日付

この部分に掲載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

『毎日新聞』（夕刊）、2018年1月22日付

この部分に掲載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

2018(平成30)年度  
大東文化大学大学院  
アジア地域研究科アジア地域研究専攻  
春季入試(4月入学)

氏名・受験番号

用紙総計 1/1

科目名

アジア地域研究  
(120分)

問題用紙

前期課程 専門科目試験 2限

2018年2月16日実施

下記の問題1～4の内、2問を選択して解答用紙に日本語で記入しなさい。

※解答用紙には解答する問題の数字を記入してから記入すること。

1. 情報について①「情報を自由に共有することは科学、産業、学術の発展に有利である。」②「国家の安定には情報の制限が必要である。」という二つの対立した見方がある。情報は自由に共有すべきであるか否か、二つの対立する立場について論じ、自分の意見を述べなさい。

2. 国家が人の移動の自由を制限すること(パスポートやビザ)によって、世界経済はどんな影響を受けているか? メリットとデメリットについて論じ、自分の意見を述べなさい。

3. アジア地域で活躍した歴史上の人物を一人取り上げ、その人物の活動について説明し、今日、その人物がどのように評価されているかについて論じなさい。

4. アジア各地に存在する「少数民族」あるいは「マイノリティ」とされている人々について、具体的な事例を挙げながら説明し、そのような人々をめぐる文化や社会などの問題について論じなさい。